

体育が苦手な児童生徒のための授業づくり研究大会
令和3年度体育・保健体育指導力向上研修（オンライン）
コースC 表現運動系

米子市立福生東小学校 渡辺倫慶

1 講義1「新学習指導要領を踏まえた体育，保健体育授業の考え方」より
（塩見英樹：スポーツ庁教科調査官，関伸夫：スポーツ庁調査官）

①対話的な学び

◎自分との対話，友達との対話

インプットしたこと：運動の行い方（知識）をアウトプットする：運動する（技能）ことによって，見つかった課題の解決方法を考える。そして，その課題の解決方法（知識）をアウトプットする（表現）ことで力を伸ばすことができる。

この活動の連続が，「運動の楽しさや喜び」につながる。

②深い学び

◎見方・考え方

「特性に応じた楽しさや喜び」，「体力の向上」，「する・みる・支える・知る」の3つが関連し合って育まれるように指導していく。

それによって，「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成」が可能となる。

2 協議1「新学習指導要領の実施に関して直面している課題」より
他県の先生の実践から

①ICT機器を使っでの評価

◎ワークシートを全児童の端末に配布 → 手書きで記入し，提出。

◎動画を撮って見合う → アドバイスし合う

自分ができない動きについても，評価できる。（思考力・判断力・表現力）
動画をどこから撮るのかによって，気付く部分も変わる。

②「思考力・判断力・表現力」の評価について

◎振り返りに書くことができにくい児童については，その児童のよい動きを見たときに，「今，どんな風にした？」，「体のどの部分をどう動かした？」と聞き，会話の中から思考を見とる。

3 講義2「新学習指導要領を踏まえた各領域等における指導の在り方」より
(安江美保：ノートルダム清心女子大学准教授)

表現運動

①体幹部をどれだけ豊かに使うかがダンスでは大切

- ◎突っ立った状態，棒立ちの状態から変化させる
 - ◎動きの誇張（デフォルメ）→体幹部の使い方
 - ◎連続した動き
 - ◎変化のメリハリ
- ※2人組で行うと効果が出やすい

②活動例

- ◎座ったままでリズムに乗る
- ◎まわる，はねる，ひねる，ころがる
- ◎おへそでリズムに乗る

4 講義3「新学習指導要領に基づいた指導と評価」より
(田中卓志：広島県教育委員会指導主事)

①「指導と評価の計画を作成する際のポイント」

- ◎評価の計画を行うのは，評価場面を精選し，適切に評価するため。
「いつ」，「何を」，「どのような方法で」行うのかを評価する。

○評価の進め方

- 1 単元の目標を作成
- 2 単元の評価規準を作成
- 3 「指導と評価の計画」を作成
- 4 授業を行う
- 5 観点ごとに総括する

②指導案の「指導と評価の計画」

- ◎導入部では，単元の目標の達成に向けた各時間の学習のねらいや学習内容を設定する。
- ◎展開部では，指導することを明確にする。
- ◎評価の観点の部分で，「いつ・何を・どのような方法で」評価するのか計画する。

5 協議2「各領域等における体育が苦手な児童生徒のための授業づくり」

上記の講義を受けたうえで、他校の先生と話し合った。

①どんな配慮や手立てができるか

- ◎心と体をほぐす運動として、ジェスチャーゲームを取り入れる。
- ◎理科や生活科等，他教科で見たり学習したりしているものをテーマにする。
- ◎教師が楽しそうに踊って見せる。
- ◎モデルを見せる。
- ◎友達動きを共有する。
- ◎リーダーを決めることで責任感をもたせる。
- ◎踊りたくなる曲を選ぶ。
- ◎スキップ，はずむ，ねじる等，低中高に合った動きを取り入れさせる。
- ◎2人組を組み合わせて，2人+2人，4人+4人・・・のグループにする。
- ◎子どもたちに親しみやすいテーマを選ぶ。(反応を見て考える，変更する)

6 講義4「協議のまとめ」

①イメージがもちにくい児童に対する手立て

- ◎映画やアニメのサントラを使用する。
- ◎動画を見せる。
- ◎「動きの貯金箱」を作る。(動きをカードにまとめる，例：喜び)

②思いが多く，まとめていくことが大変なグループに対する手立て

- ◎順番にやってみる。
- ◎ミックスしてみる。
- ◎画用紙等にまとめ，グループで合意形成する。

③評価について

- ◎「A」と「C」の基準をはっきりさせておいて，それを見とる。